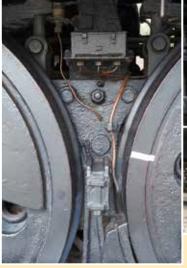
みゆーじあむ・船橋



令和2年9月









第15号

博物館ニュース	[2]
船橋遺跡風景今昔 5 内堀込遺跡	[3]
船橋の明治・大正・昭和 新京成電鉄と縄文時代の遺跡	[4-5]
船橋都市形成史 1 徳川家康がやってきた船橋御殿	[6-7]
インフォメーション	[8]

博物館ニュース

郷土資料館・飛ノ台史跡公園博物館ともに、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年 2月29日出から5月31日回まで、臨時休館をいたしました。このページでは、臨時休館の影響を受 けて会期を変更した、市立学校との共催展示の内容をご紹介します。

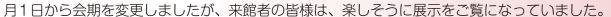
郷土資料館 ふなばしギャラリー展示

薬円台小学校ひまわり学級児童制作版画展示「地元キッズのアートな力発見!」

6月2日以から8月30日回まで、3階のエレベーター前の廊下の壁 面に、薬円台小学校の特別支援学級(ひまわり学級)の児童が制作した 「版画カレンダー」を展示しました。

ひまわり学級では、毎年、全員で版画カレンダー作りに取り組んで います。今回、郷土資料館では、カレンダーのために制作された版画 15作品を展示しました。

3回に分けて色を重ねて作られた版画作品には、それぞれ、季節を 感じられるデザインが選ばれています。当初予定していた令和2年3





船橋市では、毎年度1回、市役所1階美術コーナーにおいて、市内小中学校の特別支援学級・特別支援学 校で学ぶ児童生徒の作品を展示しています。展示が始まる前には、『広報ふなばし』に情報が掲載されます ので、ぜひ、ご覧ください。

飛ノ台史跡公園博物館 企画展

海神中学校・高根台中学校・飛ノ台史跡公園博物館合同展「日本の美を今に活かした作品展」

当館は、平成23年度より海神中学校と、さらに、平成30年度からは高根台中学校とも合同で、縄文土器 を活用した美術科の連携授業を行っています。授業は、縄文土器の形や文様などに着目し、縄文人の豊かな 感性に触れることから始めます。学年によっては、土器片の拓本を取ることもあります。その後の授業では、 縄文だけでなく、様々な日本の美しいものと出会い、それらの良さを感じ、作品制作に取り入れていきます。

そのようにして、授業の中で学びを深めていった生徒たちが作った作品は、陶芸作品、布の型染め、拓本 と金属を融合したものなど、非常に見ごたえのあるものでした。さらに、両校の美術部がそれぞれに作った 大型の作品は、来館者の目を引き付けていました。

令和元年度の作品展は、令和2年2月23日回から3月22日回までの開催予定でしたが、当館の臨時休館 に伴いわずか6日間の開催となってしまいました。

短い会期でしたが、いただいたアンケートには、「博物館の展示を見た経験がどのように活かされたかを見

ることができて面白かった」や「多くの目に触れる機会があることは、子ども たちが作品を作るうえで大きな励みになると思う」などのご感想がありました。







船。橋。遺。跡。風。景。今。昔

内堀込遺跡

内堀込遺跡のあらまし

内堀込遺跡は、船橋市北部の鈴身町にあります。昭和 34年に刊行された『船橋市史前篇』の「船橋市内縄文 式時代遺跡表」(高橋1959)で紹介された20遺跡の1つ であり、古くより知られています。遺跡の類別は包含地 とされ、遺物は約5.000年前の縄文時代中期の加曽利日 式と報告されています。

平成20年に確認調査が行われ、縄文時代の土坑、中 世(約800~400年前)の馬葬坑・土坑列・溝状遺構が みつかりました。この確認調査の結果、これまで縄文時 代中期の遺跡と理解されていましたが、中世においても 利用していたことがわかりました。

平成30年に博物館の主な業務である調査研究の一環 として、市民の久恒浩一郎氏より平成29年度に寄贈さ れたコレクションの再整理を行なったところ、船橋市で は初となる、「本ノ木型尖頭器」をみつけました。

本ノ木型尖頭器は、旧石器時代と縄文時代の境目であ る約16.000年前の石槍です。新潟県中魚沼郡津南町に ある本ノ木遺跡で初めてみつかった特徴的な石器であり、 古い時代に船橋市と津南町との交流があった証拠です。

これまでの発掘調査、また郷土の文化財を愛する市民 の寄贈のおかげで、内堀込遺跡は、古くは旧石器時代か ら縄文時代草創期及び中期、中世の文化財があることが わかりました。



内堀込遺跡より採集された石器 出土の石器 a 本ノ木型尖頭器 b・c 木葉形尖頭器



1970年代(船橋市教育委員会1977)





遺跡の範囲 ※矢印は平成30年に撮影した方向を示す

内堀込遺跡の今昔

写真から遺跡の今昔を比較すると、目立った変化はあ りません。現在、都市化が著しい船橋市ですが、幸いな ことに遺跡は、大規模な開発から免れ、現在も良好に保 存されているようです。この遺跡の詳細な内容について は、未来の考古学者たちが解き明かすと期待できます。 博物館として、時代の流れの中で失われることもある文 化財ですが、そのような資料を収集し、後世に伝えてい く活動を続けていきたいと思います。 (畑山 智史)

参考文献

高橋源一郎 1959「船橋地域の石器時代総説」『船橋市史前篇』

橋本 勝雄 2019 「船橋市内堀込遺跡採集の尖頭器―市内初の本 ノ木型尖頭器、その発見の意義一」『飛ノ台史跡公園博物館紀要』 第15号、22-35

畑山 智史 2019 「寄贈資料久恒コレクションの紹介」 「飛ノ台史 跡公園博物館紀要』第15号、12-21

船橋市教育委員会 1977 「写真図版 11」 『船橋市の遺跡』



平成30年(2018) 10月17日撮影(南西側より)

新京成電鉄と縄文時代の遺跡

筆者は令和元年度、郷土資料館にて企画展「船橋と新京成」を企画しました。本稿では、企画展を作っていく中で筆者が面白いと感じたことの中から、新京成電鉄の成り立ちや、沿線地域にある縄文時代の遺跡等についてご紹介します。

1. 新京成電鉄の成り立ち

新京成電鉄の新津田沼一薬園台間が開通したのは昭和22年(1947)ですが、その歴史を語るためには、明治時代まで遡らなければなりません。

明治41年(1908)、東京府豊多摩郡中野町(現東京都中野区)にあった鉄道連隊本部*と第一・第二大隊、材料廠が千葉町に、第三大隊と材料廠が津田沼町に、それぞれ移転してきました。

※鉄道連隊とは、兵士や物資を運ぶために戦地で鉄道を敷設・運転したり、敵の鉄道を破壊したりする部隊のことです。

この第三大隊(大正7年(1918)に鉄道第二連隊に 昇格)が練習のために敷設した津田沼一松戸間の演 習線が、後の新京成電鉄に引き継がれます。



絵はがき「鉄道第二連隊 軽便鉄道敷設作業」 所蔵:船橋市郷土資料館

終戦後、津田沼一松戸間の演習線はしばらく放置されていました。そこで西武農業鉄道(現西武鉄道)は演習線の資材の払い下げを、京成電鉄は演習線を再利用した新線建設を、それぞれ連合軍総司令部(GHQ)に申請します。新線建設を熱望する京成電鉄は、新しく下総鉄道(現新京成電鉄)を設立し、GHQと繰り返し交渉しました。

昭和21年(1946)8月に新線建設の許可が下り、翌年2月から建設工事が始まりましたが、終戦後間もない時期であり、資材も資金も不足しています。新京成電鉄は演習線の路盤や橋梁をそのまま使用したり、京成電鉄の車両を借用したりして、建設費を

そして遂に昭和22年12月27日、待望の新津田沼一薬園台間が開通します。その後は延伸を繰り返し、昭和30年(1955)4月21日に京成津田沼一松戸間が全通しました。



昭和33年(1958)前原町付近を通過する新京成電車 撮影:手塚博禮氏

2. 人口増加と学校増設

新京成電鉄の開通後、沿線の人口は急増し、小学校も次々と開校しました。表は昭和22年以降に開校した新京成線沿線の市立小学校の一覧です。

年	開校した小学校	同年のできごと
昭和25年	薬円台	
昭和31年	前原	
昭和35年	三山、中野木	前原団地入居開始
昭和36年	高根台第一	高根台団地入居開始
昭和37年	高根台第二	
昭和42年	習志野台第一	習志野台団地入居開始
昭和43年	高郷、古和釜	夏見台団地入居開始
昭和44年	飯山満	市人口が30万人を超える
昭和45年	習志野台第二	
昭和46年	金杉台、大穴	金杉台団地入居開始
昭和47年	高根台第三、高根東	
昭和48年	八木が谷	
昭和49年	薬円台南	市人口が40万人を超える
昭和50年	飯山満南、坪井	
昭和52年	八木が谷北、芝山東、 大穴北	芝山団地入居開始
昭和53年	金杉、二和	
昭和54年	芝山西	
昭和55年	七林	
昭和56年	田喜野井	
昭和57年	三山東	
昭和58年	咲が丘	市人口が50万人を超える
		大京壬日人 0040 <i>年</i>)

『令和元年度 教育要覧』(船橋市教育委員会、2019年)、 『新版 船橋のあゆみ』(船橋市郷土資料館、2008年)による

昭和30年に16校だった市立小学校は、昭和60 年には55校に増加しました。

その過程では、児童数の増加に校舎の新築・増築 が追い付かず、プレハブ教室で授業をする場面もあ りました。『広報ふなばし』昭和49年5月15日号 によると、当時、プレハブ教室は小学校に78教室、 中学校に7教室あり、約3千人の児童・生徒がプレ ハブ教室で学んでいたそうです。

3. 学校建設予定地の発掘調査

学校の新設に伴い、学校を建てる前に行う発掘調 **杳も大急ぎで進められました。**

その結果、高根木戸遺跡(現高郷小学校)や古和 田台遺跡(現高根東小学校)、沢之台遺跡(現七林 小学校)等の発掘調査が行われ、考古学史上におい ても貴重な遺構・遺物が数多く見つかりました。



上の写真は、昭和42年(1967)に撮影された高根 木戸遺跡発掘調査地の空撮です。写真中央、盛り上 がったように見える台地上に、約4500年前の環状 集落が広がっています。時期区分で言うと、縄文時 代中期の遺跡です。10.000㎡を上回る広範囲の発 掘調査により、75軒の竪穴住居跡や、大量の土器、 石器等が見つかりました。

右下の写真は、高根木戸遺跡より出土した約5千

年前の深鉢形土器です。装 飾的な把手を含む高さは約 44cmで、土器の側面に炎 を受けた跡があり、食べ物 の煮炊きに使われていたと 考えられます。

昭和42年7月から始まっ た高根木戸遺跡の発掘調査 は、建築工事と並行して昭



和43年2月まで行われ*、同年、高郷小学校が開校 しました。

※昭和42年7月~9月が本調査、以降は補足調査



昭和42年 高根木戸遺跡の発掘調査風景



新築をよろこぶ高郷小学校児童 『広報ふなばし』昭和43年6月25日号より抜粋

昭和22年に開通した新京成電鉄と縄文時代中期 の遺跡は、一見まったく関係がないように見えます が、新京成電鉄の沿線地域の人口が増えることに よって学校が必要とされ、かねてより「高郷貝塚」 として知られていた場所が学校建設予定地となり、 発掘調査が行われた結果、縄文時代の貴重な遺構や 遺物が見つかるという関係があったのです。

(島﨑 依子)

参考文献

『新京成電鉄五十年史 下総台地のパイオニアとして』(新 京成電鉄株式会社社史編纂事務局、1997年)

『砂塵を越えて 北習志野開拓 50 周年記念誌』(習友会、 1994年)

『広報ふなばし 縮刷版 第2号』(船橋市企画部広報広聴課、 1978年)

『船橋市の遺跡』(船橋市史編さん委員会、1987年) 『高根木戸―縄文時代中期集落址調査報告書―』(船橋市教 育委員会、1971年)

徳川家康がやってきた船橋御殿

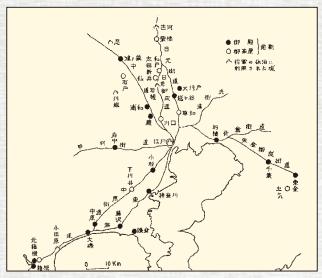
はじめに

この船橋市に人が住み始めたのはいつごろからでしょうか。現生人類が日本列島にやってきたのは約4万年前であり、ここ船橋市でも約3万5千年前の旧石器時代の石器が出土しています。その後、約1万年前の縄文時代早期の取掛西貝塚(飯山満町他)では竪穴住居跡がたくさん発見されていることから、船橋において、定住生活が始まっていたことがわかっています。この遺跡は東京湾東岸部では最古の貝塚です。「1万年前から住みよいところ、船橋」といえるでしょう。

特に「東京湾」の存在が船橋に住む人々の生活を 長年ささえてきました。東京湾は魚介の恵みをもた らすとともに、船による海上交通の場でもありまし た。船橋市は縄文時代にはじまり古代・中世・近世 にかけて「陸海交通の要衝」だったのです。この連 載では現在の都市・船橋になるまでのさまざまな時 代の船橋の姿について述べたいと思います。

徳川家康が造営した船橋御殿

船橋にも徳川家ゆかりの御殿がありました。「御殿」とは、近世(江戸時代)において城郭内の殿様が居住する主要な建築物のことでした。今から約400年前、徳川家康が江戸幕府を開き、江戸城を本拠としました。そのほかに家康は関東を中心とした主要



第1図 南関東における御殿・御茶屋の分布 (中島義一1978)

な場所に、将軍専用の宿泊または休憩施設としての 御殿を造営しました。宿泊施設は「御殿」、休憩施 設は「御茶屋」と呼ばれました(第1図)。造営の目 的は、特に初代将軍・家康及び二代・秀忠の時代に は、鷹狩りなどの狩猟の拠点とし、狩りを通じて軍 事教練をすること、併せて各地の情勢を巡検するこ とであったといわれます。御殿は関東各地の水陸交 通の要所に置かれ、そのひとつが船橋御殿なので す。慶長19年(1614)頃に船橋御殿・千葉御茶屋御 殿(千葉市)・東金御殿(東金市)を一直線に結ぶ東金 御成街道が幕府により敷設されました。

船橋御殿の構造

船橋御殿の跡は現在の本町4丁目、海老川の西岸、標高約2mの砂州上にあります(第2図)。御殿は慶長19年(1614)頃に造営され、貞享年中(1684~1688)に廃絶したと考えられています。御殿の遺構は戦後の宅地造成によってほとんど残っていませんが、宝永4年(1707)に描かれた絵図(船橋市西図書館所蔵)があることから、土塁や中心部の建物の位置など、御殿の構造がわかります(第3図)。絵図は現代の地形図とほぼ一致することから、かなり正確な縮尺で描かれています。御殿敷地の面積は約4万6千㎡で、東京ドームとほぼ同じ規模があります。南北約240m、東西約180mのいびつな長方形ですが、本来はいわゆる方2町(1辺約240m四方)を意図して造られたと考えます。

「御殿跡」と書かれた空間地(白色)を「囲土手」 (黄色)が囲んでいます。「御殿跡」は将軍たちが宿泊した御殿の中心建物のあった場所です。現在は小さな東照宮(市指定文化財)が祀られています。「囲土手」は四方を囲んだ土塁(城の土手)のことです。この土手はほとんど残っていませんが、現地にはその名残を示す約2mの高低差がみられます。御殿の東側の川は「舟橋川」(現在の海老川)と書かれています。海老川の西側と囲土手の間は「御立野」とあり、木が描かれています(緑色)。御立野とは幕府が管轄していた林野地で、御殿廃絶後の宝永4年当時、



船橋御殿跡位置図(船橋市都市計画図及び船橋 市埋蔵文化財包蔵地図)

この部分は幕府所有地であったようです。現在も海 老川に面する低地であり、御殿が機能していた当時 は湿地帯であったと推定します。ここの字名は「橋 戸」で、土手に囲まれた御殿本体と海老川との緩衝 地帯であり、また海から海老川へと舟で入ってき て、直接接岸できる舟着き場だったのでしょう。私 は囲土手の外側には海老川とつながり、川の水が流 れる水堀があったと推測しています(絵図では畠と 空地。現在は道路)。

なぜ御殿は船橋に造られたのか

船橋が御殿造営の地に選ばれた理由をさぐってみ ましょう。まず御殿のあった場所は、"もとは船橋 大神宮(意富比神社)の神官富氏の屋敷があり、その 後、御殿を建てて神官の家を同所田中という地へ移 したが、貞享の頃、御殿は富氏へ賜り、富氏は再び もとの地へ遷り住んだ"といいます。^{注1)} これまで 御殿跡の中で行った試掘調査では、御殿の遺構は検 出されていませんが、絵図や地形から考えると、船 橋御殿は他の御殿と比較するとややいびつな形をし ていること、また土塁の形状などが江戸時代以前の 中世の方形居館と類似することなどから、戦国時代 にあったと考えられる神官富氏の屋敷(方形居館)を



第3回 宝永4年船橋御殿跡地絵図(船橋市西図書館所蔵 高橋 1959 付録図に習志野市 1986 翻刻を加筆)

改造して、土塁などは生かしたまま、新たに御殿用 の建物を建てたと推測されます。

戦国時代の本町付近は海老川を境に五日市・九日 市という市が立てられ、船橋大神宮の門前町であ り、また「船橋津」のある湊町で、交易の拠点とし て栄えました。かつて船橋大神宮に上杉氏、北条氏 などの名だたる武家の制札があり、東京湾の要地と して注目されていました。^{注2)} このように本町付近 は中世の頃から陸海交通の要衝であり、これを素地 として、江戸時代の初めは地政学上の重要地として 街道と御殿が築かれ、その後は船橋宿(継立場)と なったのです。 (道上 文)

- 注1) 高橋源一郎1959『船橋市史前篇』船橋市「船橋御殿 跡地裁許絵図および裏書」付録あり。習志野市1986 『習志野市史 第二巻史料編(I)』に翻刻あり
- 注2) 船橋市郷土資料館2002『平成13年度企画展 中世の 船橋』

中島義-1978 「徳川将軍家御殿の歴史地理的考察(第 一報) - 南関東の場合 - 」『駒沢地理』14

簗瀬裕-2020「房総の御殿」『徳川御殿の考古学』江 戸遺跡研究会

※両館の行事の詳細は、毎月1日号の『広報ふなばし』でお知らせいたします。

※日程・内容に変更が生じる場合がございます。最新の情報は、両館のホームページをご確認いただくか、直接両館にお問い合わせください。

郷土資料館

※薬円台公園内のSLの運転席は、毎週土曜日・日曜日・祝日(年末年始・雨天時を除く)の午前10時~午後4時に公開しています。

【令和3年3月までの行事予定】

期 日	行 事 名	会場
10月17日(土)~12月6日(日)	企画展「調べてみよう!船橋」	郷土資料館 3階 第2展示室
11月29日(日)	文化講演会「with 病の社会を考える 一骨が語る過去の病と人々―」※薬円台公民館と共催	薬円台公民館(船橋市薬円台5-18-1)
12月19日(土)~ 1 月31日(日)	飛ノ台史跡公園博物館開館20周年記念巡回展 企画展「かわる生活様式!? ー船橋の縄文時代早期ー」	郷土資料館 3階 第2展示室
2月6日生~令和3年度まで	企画展「くらしの道具展」	郷土資料館 3階 第2展示室

飛力台史跡公園博物館

※飛ノ台史跡公園博物館では、毎週土曜日・日曜日・祝日の他、小・中学校の夏休み・冬休み・春休み期間中に、小学校4年生から大人向けのワークショップを実施しています。

【今和3年3月までの行事予定】

I IN THE TONIO CANIDA INC	-1	
期 日	行 事 名	会場
11月7日(土)~12月6日(日)	開館20周年記念巡回展 「かわる生活様式!? ―船橋の縄文時代早期―」	飛ノ台史跡公園博物館 1階 ギャラリー
12月19日(土)~ 1 月24日(日)	くらしの道具展 ―道具が語るくらしの歴史―	飛ノ台史跡公園博物館 1階 ギャラリー
1月16日仕)、1月23日仕)、 1月30日生)	考古学講座 ※海神公民館と共催	海神公民館 (船橋市海神6-3-36)
2月21日(日)~3月14日(日)	海神中学校・高根台中学校・ 飛ノ台史跡公園博物館合同展	飛ノ台史跡公園博物館 1階 ギャラリー

「ふなばし生涯学習チャンネル」では、両館の職員手作りの学習動画を配信しています。 ぜひ、ご覧ください。



協力: 船橋市華道連盟



郷土資料館

開館時間 午前9時~午後5時

(入館は午後4時30分まで)

住 所 船橋市薬円台4-25-19

電 話 047-465-9680

F A X 047-467-1399

Eメール kyodo@city.funabashi.lg.jp

交通案内

新京成線 習志野駅下車徒歩10分

JR津田沼駅北口から

船橋新京成バス・ちばレインボーバスで 「郷土資料館」下車徒歩2分



飛ノ台史跡公園博物館

開館時間 午前9時~午後5時

(入館は午後4時30分まで)

入館料 一

一般110円(団体20名以上70円) 児童生徒50円(団体20名以上30円)

市内在住中学生以下 無料 住 所 船橋市海神4-27-2

電 話 047-495-1325

F A X 047-435-7450 Eメール tobinodai@city.funabashi.lg.jp

交通案内

東武アーバンパークライン

新船橋駅下車徒歩8分

京成本線 海神駅下車徒歩15分 東葉高速線 東海神駅下車徒歩12分

JR船橋駅北口から

船橋新京成バス2番乗り場建鉄循環で 「海神中学校前」下車徒歩1分



付館日カレンター

10)月			11月									12	2月						令和3年 1月							2)	=						3,	1						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3	1	2	3	4	5	6	7			1	2	3	4	5						1	2		1	2	3	4	5	6		1	2	3	4	5	6
4	5	6	7	8	9	10	8	9	10	11	12	13	14	6	7	8	9	10	11	12	3	4	5	6	7	8	9	7	8	9	10	11	12	13	7	8	9	10	11	12	13
11	12	13	14	15	16	17	15	16	17	18	19	20	21	13	14	15	16	17	18	19	10	11	12	13	14	15	16	14	15	16	17	18	19	20	14	15	16	17	18	19	20
18	19	20	21	22	23	24	22	23	24	25	26	27	28	20	21	22	23	24	25	26	17	18	19	20	21	22	23	21	22	23	24	25	26	27	21	22	23	24	25	26	27
25	26	27	28	29	30	31	29	30						27	28	29	30	31			24	25	26	27	28	29	30	28							28	29	30	31			
																					31								-												

は郷土資料館、飛ノ台史跡公園博物館休館日 ※都合により、休館日が変更になる場合があります。

発行:令和2年(2020)9月30日 船橋市郷土資料館・船橋市飛ノ台史跡公園博物館 表紙写真 蒸気機関車D51 125号機(郷土資料館屋外展示) 神保君雄氏撮影